

主題：聖書の核心

メッセージ 4

良き地の産物の実際としてのキリストを享受し、
神の家また神の王国としてのキリストのからだを建造する

聖書：コロサイ 1:12. 出 3:8. 申 8:7-10. 26:9

I. 首位の方またすべてを含む方としてのキリストは光の中で、また御父の愛する御子の王国の中で聖徒たちに割り当てられた分け前です——コロサイ1:12-13：

- A. 割り当てられた分け前は、嗣業の分け前を指しています。それはイスラエルの子たちに、カナンの良い地の分け前が、彼らの嗣業として割り当てられたことで例証されます——ヨシュア 14:1. 歴代上 4:9-10。
- B. 新約の信者たちの割り当てられた分け前は物質の地ではありません。それは命を与える霊としてのすべてを含むキリストです——コロサイ 2:6-7. ガラテヤ 3:14. 5:16. マタイ 8:4：
1. 良い地の豊富は、さまざまな面におけるキリストの計り知れない豊富、すなわち、彼の霊における彼の信者たちに対する満ちあふれる供給を予表します——申 8:7-10. エペソ 3:8. ピリピ 1:19。
 2. その地の豊富を享受することによって、キリストにある信者たちは建造されて、神の家また神の王国としてのキリストのからだとなり、生ぬるさや霊的な高ぶりから救われます——エペソ 1:22-23. 2:21-22. I テモテ 3:15. マタイ 16:18-19. マタイ 14:17. 啓 3:16-20。

II. 神の召しの目的は神の選びの民をすべてを含むキリストの享受の中へともたらすことです。すべてを含むキリストは、乳と蜜の流れる地によって予表されています——出3:8. 1 コリント1:2, 9：

- A. 乳と蜜は、動物の命と植物の命のミングリングであり、キリストの命の二つの面、すなわち、贖う面と生み出す面です。——申 8:8. 26:9. ヨハネ 1:29. 12:24：
1. キリストの命の贖う面は、わたしたちの法理的な贖いのためであり、キリストの命の生み出す面は、わたしたちの有機的な救いのためです——1:29. 12:24. 啓 2:7. 22:14. マタイ 5:10。
 2. 主の食卓の象徴は、キリストの命の贖う面と生み出す面が神の全体的な救いのためであることを表徴します。こうして、良い地はわたしたちの享受のための食卓、宴席となりました——マタイ 26:26-28. I コリント 10:17。
- B. 乳と蜜の地としてのキリストを享受することによって、わたしたちは乳と蜜としての彼で構成されます、「わが花嫁よ、あなたの唇は蜂蜜をしたたらせ、あなたの舌の下には蜜と乳がある」——雅歌 4:11 前半. I ペテロ 2:2. 詩 119:103。

III. 良い地は小麦の地です。小麦は、肉体と成り、十字架につけられ、葬られた方である制限されたイエスを予表します——申8:8. ヨハネ12:24：

- A. わたしたちを制限し、圧迫する状況のただ中で、わたしたちは主を一粒の麦として経験します——24-26 節. 啓 1:9. 使徒 16:7：

1. わたしたちは制限する状況において主と接触するとき、彼が無限の神であるが有限な人となられたこと、彼の中にはいかなる種類の制限にも耐える力があることを認識します——ピリピ 4:12-13。
 2. わたしたちの命であるキリストはわたしたちの内側で一粒の麦であって肉体と成った方、制限された方の命を生きます。彼はわたしたちの命であり、わたしたちが進んで制限を受け、死に、埋められるようにします——ヨハネ 12:24-26. コロサイ 1:27. 3:4。
 3. わたしたちは主と接触するなら、彼を一粒の麦として経験します。そして彼の中でわたしたちは自分の状況に満足しません——ピリピ 4:11-12。
- B. パウロは自分自身をキリスト・イエスの中の囚人と考えており、見たところ彼は物質の獄の中に閉じ込められていました。実は、彼はキリストの中で獄に入れられていたのです——エペソ 3:1. 4:1。
- C. 最終的に、忠信にキリストを愛するあらゆる者はキリストによって獄に入れられるだけではなく、キリストの中で獄に入れられていました。わたしたちは彼を愛すれば愛するほど、ますます彼の中におり、彼がわたしたちの獄となり、そこでわたしたちは彼を極みまで享受することができるに至ります——ピリピ 4:4。

IV. 良き地は大麥の地です。大麥は復活したキリストを予表します——申8:8：

- A. 大麥は早く熟すので、それは収穫の初穂、すなわち、復活したキリストの予表です。—— I コリント 15:20. レビ 23:10。
- B. 初穂として、キリストは命のパンとなりました。このゆえに、大麥のパンはわたしたちの食物である復活におけるキリストを表徴します——ヨハネ 6:48. 申 8:9 前半：
1. 五という数字は責任を表徴します。これは復活したキリストが責任を担うことができることを示します——ヨハネ 6:9。
 2. わたしたちが大麥のパンとしてのキリストを常食とするとき、わたしたちは大麥のパンとなって、わたしたちが経験したキリストをもって他の人たちを養います——参照、士 7:13-14。
- C. 小麦、すなわち、制限されたイエスを経験するために、わたしたちは大麥、すなわち、無限のキリストを適用する必要があります。すなわち、わたしたちは復活したキリストの力の中で制限されたイエスに従います——ヘブル 6:19-20. 13:12-13。
- D. わたしたちはみなわたしたちを力づけてくださる方の中でいっさいの事柄を行なうことができます。なぜなら、彼は復活した、無限のキリストであるからです——ピリピ 4:13。

V. 良き地はぶどうの木 of 地です。ぶどうの木は、犠牲のキリスト、すなわち、ご自身のすべてを犠牲にしたキリストを予表しています。キリストは彼の犠牲から新しいぶどう酒を生み出して、神と人を活気づけました——申8:8. 士9:13. 詩104:15前半：

- A. キリストはぶどう酒を生み出す方であり、ご自身を犠牲にしてぶどう酒を生み出して、神と他の人を活気づけます。もしわたしたちがぶどうの木によって予表されるキリストと接触し、彼の犠牲の命を経験するなら、彼はわたしたちを力づけて犠牲の生活を送らせ、わたしたちは他の人と主を幸いにするぶどう酒を生み出すでしょう——ローマ 12:1. エペソ 5:2. II コリント 1:24。

- B. わたしたちは自分自身の中では犠牲の生活を送ることはできません。なぜなら、わたしたちの命は天然の命、利己的な命であるからです——ヨブ 2:4. マタイ 16:25 :
1. もしわたしたちが主と接触し、彼の犠牲の命を経験するなら、彼はわたしたちを力づけ増強して、神のためと他の人のために犠牲になるようにさせるでしょう——ピリピ 4:13。
 2. わたしたちはキリストを犠牲の命を持つぶどうの木として経験すればするほど、ますます力づけられて自分自身を犠牲にして、神と他の人を幸いにします：
 - a. わたしたちは幸いで「酔い」、最も幸いな人は最も利己的でない人であることを認識するでしょう。
 - b. わたしたちは接触する人に幸いをもたらし、神に活気をもたらします——Ⅱコリント 1:24. 5:13 前半。

VI. 良き地はいちじくの木地です。いちじくの木は、わたしたちの供給としてのキリストの甘さと満足を表徴しています——申8:8. 民13:23. 士9:11 :

- A. パウロは、彼の供給としてのキリストの甘さと満足を体験し享受した人の模範です——ピリピ 1:7, 18-19. 2:17-18. 3:1. 4:4, 10-13。
- B. パウロはこの世を去ってキリストと共にいることを願いましたが、その信仰に対する聖徒たちの進歩と喜びのために、進んで肉体の中に残りました—— 1:21-26 :
1. 経路としてのパウロを通して、聖徒たちはキリストを経験することができ、その信仰に対する進歩（命における成長）と喜び（キリストに対する享受）を持つことができました—— 25 節。
 2. 今日、供給の経路に対する緊急の必要があります。もし聖徒たちがキリストを経験しようとするなら、だれかが供給の経路として仕えなければなりません。
- C. パウロは、恵みにあずかる者でした。そして、彼は主の中で大いに喜びました。彼は主の中で幸いであり、彼の幸いは時間が過ぎても衰えませんでした—— 4 節. 2:2. 3:1. 4:4, 10。
- D. からだを通して、パウロはイエス・キリストの霊の満ちあふれる供給を受けました。恵みとは、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給を通して、神がキリストの中でわたしたちの享受としてわたしたちに伝達されることです—— 23 節. 1:19。

VII. 良き地はざくろの地です。ざくろは、命の豊満、命の充足と美しさ、そして命の豊富の表現を予表しています——申8:8. 出28:33-34. 列王上7:18-20 :

- A. ざくろと金の鈴が、大祭司の服の下部に付いていました。大祭司の衣は召会を表徴します——出 28:33-34。
- B. 召会はその人性において命に満ちているべきです。これが、亜麻布で作られたざくろの意義です。
- C. 召会は命の豊満を表現するための人性を持っており、また金の鈴の音を鳴らすための神性も持っています：
 1. 命の豊満は、召会の人性の中で表現されますが、命における警告の声を伴う命の神聖な音は、召会の神性（金の鈴）の中で表現されます—— 35 節。
 2. わたしたちはまず命の豊満の表現を持ち、それから金の鈴の音を持ちます。すなわち、召会の神性からの語りかけを持ちます。

3. わたしたちの人性の中で表現された命の美しさと金の鈴の神聖な音（不注意に歩かないようにとわたしたちに警告する）は、正しい召会生活のしるしです。

VIII. 良き地はオリーブの木です。オリーブの木は、その霊で満たされ、その霊で油塗られた方であるキリストを予表します——申8:8. ゼカリヤ4:12:

- A. オリーブの木の油は、聖霊を予表し、神と人を尊ぶために用いられます——士 9:9. 参照、サムエル上 2:30:

1. わたしたちは聖霊なしに、主に仕えることも、人を助けることもできません——使徒 6:3。
2. わたしたちは主に仕え、人を助けるために、その霊で満たされなければなりません。わたしたちがその霊で満たされているときだけ、わたしたちは神を尊び、人を尊ぶことができます——エペソ 5:18。

- B. わたしたちが人にキリストを供給し、人に油を供給するとき、わたしたちは人に神（金）を供給しているのです——ゼカリヤ 4:6, 11-12:

1. わたしたちはみなオリーブの木となって、わたしたち自身から神を空にして、他の人の中へと流し込むべきです。
2. このようにして、神が流れ出るオリーブの木である人たちによって、油は必要な人たちに供給されます。

- C. クリスチャンとして、わたしたちはオリーブの木ですが、それは別々の木という意味においてではなく、唯一のオリーブの木であるキリストの枝という意味においてです—— 11-12 節:

1. キリストは唯一のオリーブの木ですが、彼から多くの枝、多くの若枝が出て来ました。これらの枝や若枝は、今日、地上における多くのオリーブの木です。
2. 唯一のオリーブの木であるキリストの枝として、わたしたちは他の人に油を、すなわちその霊を供給する必要があります。それは、彼らが生かされて神の唯一の証しとなるためです。